



絶滅危惧種の コアジサシを観察

大丸小学校の3・4年生が、7月7日(木)・11日(月)の2日間に分かれて、横瀬海岸に飛来した絶滅危惧種に指定されている鳥「コアジサシ」の観察をしました。

児童は、日本野鳥の会かごしま県支部大隅地区幹事の前田和浩^{かずひろ}さんからコアジサシの生態や天敵の説明などを受けたあと、海岸で望遠鏡をのぞきこみ観察したりタブレット端末で写真を撮影したりしました。

4年の鷲東結月^{ゆづき}さんは「近くの海岸に来てくれて嬉しい。僕たちが大人になってもコアジサシやウミガメを守っていきたいです」と話してくれました。



大学野球リーグでホームラン王 町長を表敬訪問

東京新大学野球連盟1部の春季リーグ戦において、最多本塁打のタイトルを獲得した浜田集落出身の篠田大聖^{たいせい}さん(創価大学4年生)が、7月1日(金)、町長を表敬訪問しました。

俊足巧打の1番打者ながら、パンチ力を活かし、11試合で3本のホームランを放ちタイトルを獲得しました。

今後は秋のリーグ戦や明治神宮大会に向けた予選が控えており、日々練習に励んでいるようです。篠田さんは「秋は優勝をめざし、個人・チームとも良い成績が残せるよう頑張ります。大学卒業後も野球を続けたいです」と話されました。



食品等に係るパートナーシップ協定を締結

7月1日(金)、大崎町社会福祉協議会とNPO法人フードバンクお助けマン霧島 志布志拠点、南九州大崎ロータリークラブが食品等支援に係るパートナーシップ協定を締結しました。

本協定は、食品ロス問題に取り組みながら、十分な食料品を確保できない方に食に関する支援をおこなうことで、町民の福祉向上を図ります。

今回の締結により、同法人から提供があった食品を社会福祉協議会を通して、個人や福祉事業所、子ども食堂に配布します。